

**教育委員会の事務の管理及び  
執行状況に関する点検・評価報告書  
(平成22年度対象)**

**平成23年9月  
新潟市教育委員会**

－ 目 次 －

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動状況について	2
1	教育委員会会議の開催状況	2
2	教育委員会会議以外の活動状況	3
3	平成 22 年度の主な取組と成果	5
III	新潟市教育ビジョンの施策評価について	6
1	平成 22 年度施策評価一覧	6
2	主な施策・事業の評価状況	7
3	教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応	12

## I はじめに

平成 19 年 6 月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が一部改正され、平成 20 年 4 月から、各教育委員会においては、毎年、教育に関する事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地教行法第 27 条の規定に基づき、平成 22 年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行いました。

本報告書は、その結果をまとめたものであり、「II 教育委員会の活動状況について」では、教育委員会会議の開催状況や、会議以外の教育委員の活動状況について記載しています。

また、「III 新潟市教育ビジョンの施策評価について」は、本市教育委員会の活動の根幹をなす「新潟市教育ビジョン」の、平成 22 年度の施策の実施状況、進捗状況等について、有識者などで構成される「新潟市教育ビジョン推進委員会」の知見を活用しながら、点検・評価を実施した内容となっています。

### 【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 教育委員会の活動状況について

### 1 教育委員会会議の開催状況

#### ○新潟市教育委員会定例会・臨時会

平成 22 年 4 月定例会	教科用図書採択の基本方針，教育フォーラム 2010 他
平成 22 年 5 月定例会	文化財保護審議会委員の委嘱，管理職選考検査 他
平成 22 年 6 月定例会	6 月議会議案，学校施設の耐震改修状況 他
平成 22 年 7 月定例会	教科用図書の採択 他
平成 22 年 8 月定例会	教育委員会の事務の点検・評価の議会報告，奨学生等の選考 他
平成 22 年 9 月定例会	9 月議会議案，家庭と地域の教育力の向上 他
平成 22 年 10 月臨時会	職員の人事措置に係る訴訟
平成 22 年 10 月定例会	県立特別支援学校高等部 他
平成 22 年 11 月定例会	12 月議会議案，多忙化解消検討会議 他
平成 22 年 12 月定例会	高志中等教育学校の入学者選抜 他
平成 23 年 1 月定例会	全国体力・運動能力，運動習慣等調査 他
平成 23 年 2 月定例会	2 月議会議案，就学援助制度の見直し
平成 23 年 2 月臨時会	市立学校の校長の人事
平成 23 年 3 月定例会	規則改正，事務局及び機関の長の人事 他

#### ○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・会議について 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・会議案件について ホームページで案件名を事前に公開
- ・会議録について 会議終了後，会議速報をホームページに掲載  
会議録作成後，速やかに，ホームページに掲載及び市政情報案内室において公開
- ・傍聴の平均人数 3.64 人

- ・地教行法等に基づき，新潟市では，毎月，教育委員会定例会，及び必要に応じて臨時会を開催しており，平成 22 年度は 14 回の会議（定例会 12 回，臨時会 2 回）を開催しました。（付議事件 34 件，報告案件 41 件）
- ・教育委員会定例会の案件となる前に，事前に協議会などを開催し，案件について十分な検討を行っています。会議の資料については，事前に教育委員に配付され，各教育委員が十分内容を把握した上で定例会に出席しており，毎回活発な意見が交わされています。
- ・また，会議については，原則公開で行われています。（人事案件等非公開の場合あり）

## 2 教育委員会会議以外の活動状況

### ○市内視察

平成 22 年 9 月 高志中等教育学校（中高一貫教育，授業参観，懇談会）

平成 22 年 10 月 沼垂小学校（電子黒板による授業参観，懇談会）

平成 23 年 2 月 五十嵐中学校（学力向上の取組）・文化財センター（施設見学）

1 年間に 3 回程度の市内視察を行っており，教育現場の状況を把握するようにしています。また，現地では必ず，意見交換を行うようにしており，情報交換に務めています。

### ○行政視察

平成 22 年 11 月 横浜市

- ・星槎中学校（不登校の生徒を対象とした学校）
- ・横浜市教育委員会（横浜市独自で作成した横浜版学習指導要領について）
- ・横浜市立石川小学校（特別支援教育の取組（特別支援教室））

- ・1 年に 1 度，一泊二日で，県外に行政視察を行い，先進の教育行政を参考にして新潟市の教育行政に役立てています。
- ・平成 22 年度は，星槎中学校では，不登校の生徒を対象とした学校運営の概要説明及び施設見学，横浜市教育委員会では，横浜市独自で作成した横浜市版学習指導要領についての説明及び事務局との懇談，石川小学校では，横浜市の特別支援教育の取組説明及び事務局と懇談を行いました。

### ○懇談会・意見交換会

平成 23 年 2 月 民間人校長，行政出身校長との意見交換会

（校長の採用から現在までを振り返り，現場での奮闘ぶりや目指す学校像について）

平成 23 年 2 月 市長・副市長との懇談会

（安心政令市にいがたマニフェストについて）

平成 23 年 2 月 区自治協議会委員との懇談会

（地域と学校について）

- ・民間人校長である濁川中学校長・豊照小学校長・味方中学校長，行政出身校長である黒埼南小学校長との意見交換の他，市長・副市長とは，安心政令市にいがたマニフェストについて懇談会を行いました。
- ・教育委員会と地域との連携強化，開かれた教育委員会を目指し，「地域と学校について」をテーマとして，各区（北・東・中央・江南区）自治協議会委員との懇談会を行いました。

### ○指定都市協議会・他団体関係

- 平成 22 年 5 月 新潟県都市教育長協議会 春季定期総会
- 平成 22 年 6 月 第 1 回 指定都市教育委員・教育長協議会
- 平成 22 年 7 月 新潟県市町村教育委員会連合会 理事会・総会・研修会
- 平成 23 年 1 月 第 2 回 指定都市教育委員・教育長協議会

・平成 22 年度は新潟市で、指定都市教育委員・教育長協議会を開催し、全指定都市の教育委員を集めた協議会を行いました。また、新潟県市町村教育委員会連合会が主催する研修会へ、教育委員が参加するなど、他の指定都市や市町村の教育委員とも積極的に情報交換をおこなっています。

### ○マイスター養成塾

- 平成 22 年 5 月 第 1 回認定審査委員会
- 平成 22 年 11 月 修了者研修認定授業
- 平成 22 年 11 月 マイスター公開授業講座
- 平成 22 年 12 月 第 2 回認定審査委員会
- 平成 23 年 1 月 養成塾研修プログラム認定授業
- 平成 23 年 1 月 マイスター公開授業講座
- 平成 23 年 2 月 第 3 回認定審査委員会
- 平成 23 年 3 月 修了式

### ○学校周年事業等への教育委員の出席

- 平成 22 年 4 月 東特別支援学校入学式
- 平成 22 年 4 月 万代長嶺小学校創立 10 周年記念式典
- 平成 22 年 6 月 両川小学校開校式
- 平成 22 年 10 月 山の下小学校創立 100 周年記念式典
- 平成 22 年 10 月 高志高等学校機械科・電気科閉科記念式典
- 平成 22 年 10 月 金津小学校創立 100 周年記念式典
- 平成 22 年 11 月 市之瀬小学校閉校式典
- 平成 22 年 11 月 東新潟中学校創立 60 周年記念式典
- 平成 22 年 11 月 西特別支援学校開校式

### ○卒業式への教育委員の出席

- 平成 23 年 3 月 万代高等学校、高志高等学校、明鏡高等学校、東・西特別支援学校

### ○その他の出席

総合教育センター創設 60 周年記念式典、成人の日のつどい、小・中学校教員採用選考検査確認、学校長・園長研修会、教育フォーラム 等

### 3 平成 22 年度の主な取組と成果

平成 22 年度は、新潟市教育ビジョン後期実施計画（平成 22～26 年度）のスタートの年であり、「確かな学力の向上」、「家庭・地域の教育力の向上」、「学・社・民の融合による教育の推進」などに重点的に取り組みました。

教育委員会の主な取組と成果として、次のことがあげられます。

#### ① 基礎・基本を身につける教育の推進

全国学力・学習状況調査の結果から、算数・数学の知識・技能の定着が不十分な状況が判明している。

これを受け、単元別の基礎的・基本的な知識・技能の習得状況を把握し、児童生徒へのきめ細かな指導に役立てるため、本市独自の単元評価問題の学校向け Web 配信を開始した。

また、大学生などの学習支援ボランティアを引き続き各校に配置するなど、児童生徒一人ひとりの学力実態の的確な把握と、きめ細かな指導に努めた。

#### ② 家庭・地域の教育力向上と「公民館改革宣言」

公民館における「家庭教育学級」や「プレママ学級」を引き続き実施し、学習機会の提供や親同士の仲間づくりを進めることにより、家庭の教育力向上に努めた。

各公民館とコミュニティ協議会などの地域団体が連携しながら、地域課題の解決に向けた事業や、地域を担う人材の育成を行うことにより、地域の教育力向上に努めた。

また、「地域に出かけ、一緒に取り組み、地域を元気に」することを旨とした「新潟市公民館改革宣言」を行い、今後の「まちづくり」、「地域づくり」、「人づくり」を推進していくための指針を明確にした。

#### ③ 地域と学校パートナーシップ事業の拡大

学・社・民の融合による教育を推進する取組として、「地域と学校パートナーシップ事業」を引き続き実施し、地域教育コーディネーターを前年度の 64 校から 105 校に拡大して配置した。

また、新たな取組として、新設の両川小学校と隣接する両川中学校の両校を担当するコーディネーターの配置を行った。

事業に伴う学校支援ボランティアの活動機会は延べ 18,522 回、63,608 人となり、学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の醸成が図られた。

### Ⅲ 新潟市教育ビジョンの施策評価について

新潟市教育ビジョンの平成22年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価を以下に示します。

#### 1 平成22年度施策評価一覧

全施策の平均 3.29 (学びの扉の平均3.13)

評価分布(評価対象113指標)

・指標を上回って達成 4…50.4% ・指標どおり達成 3…20.4% ・指標を少し下回った 2…28.3% ・指標を大きく下回った 1…0.9%

基本施策(14施策)	施策(62施策)		H22施策評価	
	網掛…5つの「学びの扉」に該当する施策	☆…説明に取り上げる施策		
1 確かな学力の向上	1-1	学ぶ目的意識をもち、将来の生き方を考える教育の推進	4	3.7
	1-2	自ら学び自ら考える教育の推進	4	
	1-3	基礎・基本を身に付ける教育の推進 ☆	2.8	
	1-4	学習習慣の定着と読書活動の推進	4	
2 豊かな心と健やかな体の育成	2-1	いのちの教育・心の教育の推進	3	3.2
	2-2	体験活動・ボランティア活動の支援 ☆	1.5	
	2-3	文化・芸術活動体験の推進	4	
	2-4	いじめ・不登校への対応	4	
	2-5	非行等への対応	4	
	2-6	体力づくりの推進 ☆	4	
	2-7	健康づくりの推進	4	
	2-8	食育の推進 ☆	2.5	
	2-9	青少年の居場所づくり	2	
	2-10	青少年の健全育成の推進	3	
3 世界と共に生きる力の育成	3-1	地域学習の充実	3	3.4
	3-2	国際理解教育の充実	4	
	3-3	コミュニケーション能力の育成	3	
	3-4	情報教育の充実	3	
	3-5	環境教育の充実	3.3	
	3-6	帰国・外国人児童生徒への教育の推進	4	
4 自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進	4-1	自立を目指す特別支援教育の推進	4	4
	4-2	特別支援教育のサポート体制の推進 ☆	4	
	4-3	市立特別支援学校のセンター的機能の充実	4	
	4-4	ノーマライゼーションの推進	4	
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1	校種間連携の推進 ☆	4	3.7
	5-2	学校間連携の推進	4	
	5-3	幼児教育の充実	3	
6 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1	人権教育・同和教育の推進	2.7	3.4
	6-2	交流・体験活動の推進	4	
7 家庭教育の充実と子育て支援	7-1	家庭教育充実の支援 ☆	3.3	3.2
	7-2	子育て支援の充実 ☆	3	
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-1	主体的な学習を支えるシステムづくり	2	2.7
	8-2	学び育つ各世代への支援 ☆	3	
	8-3	地域における生涯学習活動への支援 ☆	3	
9 まちづくりに生かす生涯スポーツの推進	9-1	生涯にわたるスポーツ活動の推進	-	3
	9-2	競技力の向上	3	
	9-3	みる機会・交流機会の拡大	2	
	9-4	住民主体のスポーツを支える組織の構築	4	
10 学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり	10-1	地域と共に歩む学校づくりの推進 ☆	3.3	3.4
	10-2	広報広聴活動の推進	3	
	10-3	学校・地域・NPO等の協働の推進	3.5	
	10-4	高等教育機関及び企業等との連携促進	2	
	10-5	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	4	
	10-6	市民の生涯学習施設運営への参画	4	
	10-7	区単位での教育支援体制の整備	4	
11 子どもの安全確保と学校・園の安全管理	11-1	保護者や地域と連携した安全対策の推進	2	3.2
	11-2	安全教育の充実 ☆	4	
	11-3	安全な学校施設	3.5	
12 学校教育・生涯学習環境の整備	12-1	効果的な指導を支援する施設設備の整備	4	3.4
	12-2	コミュニティの拠点としての学校整備	4	
	12-3	学校施設の整備	3	
	12-4	公民館・図書館を核としたネットワークづくり	2.7	
13 市民に信頼される教育関係職員の育成	13-1	教育関係職員の研修プログラムの充実 ☆	3	2.8
	13-2	教職員への支援体制の充実 ☆	3.3	
	13-3	信頼される教職員の採用・登用	2	
	13-4	教育関係職員の人事管理の適正化	3	
14 ニーズと課題に応える教育行政の推進	14-1	教育情報の収集と発信	2.5	3.1
	14-2	学校を支援する新たなシステムづくり	3	
	14-3	多様な教育の機会・支援体制の整備	3	
	14-4	学校の適正配置	3	
	14-5	効率的な執行体制の整備		
	14-6	教育施策に対する評価の充実	4	



## 2 主な施策・事業の評価状況

「学びの扉」に該当する施策に加え、そのほかに重点的な取組を進めてきた施策を取り上げています。

### 1 確かな学力の向上

#### 1- (3) 基礎・基本を身に付ける教育の推進

H22施策評価
2.8

主な事業 ・学力実態調査 ・理数大好きプロジェクト  
 ・学力定着支援事業  
 ・学習支援員派遣事業

#### ●施策の目標

指標	1-i	学力調査で全国平均を上回った児童(小6・国語)の割合(%)					H22評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	60.8	→	→	64.0	→	65.0	
進捗状況		65.6					
指標	1-ii	学力調査で全国平均を上回った児童(小6・算数)の割合(%)					H22評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	55.2	→	→	58.0	→	59.0	
進捗状況		54.1					
指標	2-i	学力調査で全国平均を上回った生徒(中3・国語)の割合(%)					H22評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	63.5	→	→	67.0	→	69.0	
進捗状況		60.5					
指標	2-ii	学力調査で全国平均を上回った児童(中3・数学)の割合(%)					H22評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	3
指標目標	53.4	→	→	55.0	→	56.0	
進捗状況		53.7					
指標	3	評価問題を活用している学校数(校)					H22評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	—	32	64	96	128	160	
進捗状況		171					
指標	4	学習支援員の派遣数(人)					H22評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	156	164	172	180	183	183	
進捗状況		154					

小学校算数・中学校国語で平成21年度現状値を下回った。

・小学校算数については、平成21年度から教科全体の平均正答率が全国を下回るなど、基礎的な知識・技能の習得状況が低いことが分かった。単元評価問題の配信を続けるとともに、個別指導や補充指導のあり方に関する情報を学校に提供するなどして、対策に取り組む。

・学習支援ボランティアは学校現場からの希望が多く、派遣開始時期を早めて実施した。

### 2 豊かな心と健やかな体の育成

#### 2- (2) 体験活動・ボランティア活動の支援

H22施策評価
1.5

主な事業 ・子ども農山漁村交流プロジェクトの推進  
 ・子ども体験活動・ボランティア活動推進事業

#### ●施策の目標

指標	1	子ども農山漁村交流プロジェクト参加校の割合(%)					H22評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	93	97	97	100	100	100	
進捗状況		95.6					
指標	2	ジュニアリーダー育成講座の修了者数(人・累計)					H22評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	1
指標目標	0	30	40	50	60	70	
進捗状況		16					

ジュニアリーダー育成講座の終了者数が目標値を大きく下回った。

・ジュニアリーダー育成講座は、中学校との日程調整が難航し、指標に達することができなかった。地域や学校とさらに連携を深め、ジュニアリーダーの育成に取り組む。

・子ども農山漁村交流プロジェクト参加校は、指標を少し下回ったものの、参加校の割合は、2.6ポイント増加した。

2-(6) 体づくりの推進

H22施策評価
4

主な事業 ・体力向上ジャンプアップ推進事業  
 ・体力向上・運動大好きプロジェクトの推進  
 ・中学校部活動エキスパート・サポーター活用事業

●施策の目標

指標 1	中学校の体カテスト各項目で全国平均値を上回った項目の割合(%)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	59.3	61.0	63.0	65.0	67.0	67.0	
進捗状況		75.0					

中学校の体カテストで、多くの種目で全国平均を上回った。

・全48項目中36項目で全国平均を上回った。

・「体力向上ジャンプアップ」について、市内全小中学校の取組を集約し、全校へ配付した。

・部活動エキスパート及びサポーターを計画に沿って派遣した(46校, 延べ106人)。

2-(8) 食育の推進

H22施策評価
2.5

主な事業 ・食に関する指導推進事業 ・学校給食の充実事業  
 ・学校と家庭との連携・協力事業  
 ・中学校スクールランチ推進事業

●施策の目標

指標 1	児童生徒の朝食欠食率(%) (朝食を全く・ほとんど食べない割合)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	3.9	2.0	1.5	1.0	0.5	0	
進捗状況		3.0					
指標 2	給食の残食量の減少(%)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	5.5	4.8	4.4	4.0	3.6	3.0	
進捗状況		5.0					
指標 3	地場農林水産物の使用率(%) (食材数ベース)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	14.5	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	
進捗状況		14.7					
指標 4	肥満傾向の児童生徒の割合(%)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	8.30	8.25	8.20	8.15	8.10	8.00	
進捗状況		7.6					

目標には届かなかったが、児童生徒の朝食欠食率・給食の残食量が減少した。

・平成21年度に引き続き市民を食育指導者として15名登録し、栄養士が未配置のスクールランチ校を対象に10校延べ20回派遣し、食事や栄養バランスの大切さなどについて指導した。

・学校給食の充実では、ご飯を基本とした地域の食材を使った栄養バランスのよい日本型の食事(完全米飯給食)を引き続き進めた。

4 自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進

4-(2) 特別支援教育のサポート体制の推進

H22施策評価
4

主な事業 ・特別支援教育の相談支援事業  
 ・特別支援教育ボランティアシステム

●施策の目標

指標 1	特別支援教育サポートセンターによる校内委員会支援件数(件)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	—	220	230	230	240	240	
進捗状況		391					
指標 2	特別支援教育ボランティアの登録者数(人・累計)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	82	110	115	120	125	125	
進捗状況		151					

特別支援教育サポートセンターによる校内委員会支援件数が、指標を大きく上回った。

・特別支援教育サポートセンターが核となり学校や保護者の相談支援を進めた。  
 <学校からの支援依頼 474件 保護者からの相談 268件> ※電話相談も含む

・特別支援教育ボランティアを募集し、151人が登録、74人が学校・園で活動した。

・市民を対象に特別支援教育理解啓発講座を実施し、180人の参加があった。

## 5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

### 5-1 校種間連携の推進

主な事業・幼・小・中連携・一貫教育の推進  
・中学校・高等学校教員交流

H22施策評価
4

#### ●施策の目標

指標 1	課題解決のための一貫した指導計画を作成した中学校区の割合(%)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	20	40	60	80	90	100	
進捗状況		46.0					

課題解決のため一貫指導計画を作成した中学校区が増え、校種間連携が進んだ。

・すべての中学校区で、学力・体力、不登校・問題行動実態等のデータの共有や、共通課題の設定が行われた。各中学校区の実態に応じて、工夫した行動連携を図ることができた。

## 7 家庭教育の充実と子育て支援

### 7-1 家庭教育充実の支援

主な事業・家庭教育振興事業  
・「家庭と地域の教育力」調査・研究事業

H22施策評価
3.3

#### ●施策の目標

指標 1	子育て学習出前講座の実施か所数(か所)(小・中学校など)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	110	112	114	116	118	120	
進捗状況		106					
指標 2	各種家庭教育学級の実施か所数(か所)(プレママ学級を除く)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	48	49	50	51	52	52	
進捗状況		52					
指標 3	プレママ学級の実施か所数(か所)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	3	3	3	5	5	5	
進捗状況		4					

各種家庭教育学級の実施か所数が増え、家庭教育学級の充実が図られた。

・子育て学習出前講座を106か所で実施したが、実施か所数は、現状及び指標を下回った。校長会等と連携し、実施か所を増やすよう努める。

### 7-2 子育て支援の充実

主な事業・子育て支援事業

H22施策評価
3

#### ●施策の目標

指標 1	子育て支援事業の参加者数(人)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	3
指標目標	5,625	5,700	5,800	5,800	5,900	6,000	
進捗状況		5,757					
指標 2	子育てフリースペース等の参加者数(人)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	13,266	13,500	13,500	14,000	14,000	15,000	
進捗状況		14,412					
指標 3	保育者研修会の参加者数(人)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	259	260	270	280	290	300	
進捗状況		237					

子育て支援事業・子育てフリースペース等の参加者が増えた。

・絵本の読み聞かせや親子遊びを実施するとともに、子育てフリースペース事業として10公民館で一室を開放、親の悩みを相談できる場を設け、親同士の交流を図った。

・子育てサークルの交流や保育者の研修会・交流会を実施し、子育て中の親を支援する事業の充実を図った。

・保育者研修会の参加者は、現状、指標ともに下回った。

## 8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

### 8-1(2) 学び育つ各世代への支援

主な事業 ・ビジネス支援講座 ・にいがた市民大学開設事業  
 ・アクティブシニア支援事業 ・現代的課題を学ぶ公民館事業  
 ・学習成果を発表する場の提供 ・子どもの読書環境の整備  
 ・子どもが読書に親しむ機会の充実 ・ビジネス情報提供事業

H22施策評価
3

#### ●施策の目標

指標 1	にいがた市民大学の受講者数(人)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	506	500	500	500	500	500	
進捗状況		406					
指標 2	公共図書館における児童書の貸出冊数(冊)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	1,056,000	1,126,000	1,162,000	1,181,000	1,200,000	1,220,000	
進捗状況		1,063,000					
指標 3	公共図書館で実施する子ども・親子対象事業の参加者数(人)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	17,300	18,500	19,000	19,600	20,250	20,900	
進捗状況		22,700					
指標 4	ビジネス支援調査の相談件数(件)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	210	270	300	330	360	390	
進捗状況		340					

図書館で実施する子ども・親子対象事業の参加者数とビジネス支援調査の相談件数が、指標を大きく上回った。

・市民大学は、前期講座を7講座、後期講座を3講座開設したが、指標に達しなかった。「にいがた市民大学あり方検討会」を立ち上げ、講座内容、運営方法、広報戦略等の見直しを検討した。

・児童書貸し出し数は、前年度を上回ったが、オンライン化に係わる休館もあって、指標を少し下回った。

### 8-1(3) 地域における生涯学習活動への支援

主な事業 ・地域学関連事業  
 ・地域コミュニティ活動活性化支援事業

H22施策評価
3

#### ●施策の目標

指標 1	地域学関連事業の参加者数(人)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	2,977	3,500	3,700	4,000	4,500	5,000	
進捗状況		3,193					
指標 2	公民館と連携事業を実施するコミュニティ協議会のか所数(か所・累計)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	24	26	28	30	32	36	
進捗状況		41					

公民館と連携事業を実施するコミュニティ協議会が大幅に増え、指標を上回った。

・地域学関連事業参加者数は、現状を上回ったものの、指標には達しなかった。

・コミュニティ連携事業では、地域福祉を考えたたり、地域住民の交流事業等を実施したりした。

## 10 学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり

### 10-1(1) 地域と共に歩む学校づくりの推進

主な事業 ・地域と学校パートナーシップ事業  
 ・ふれあいスクール事業  
 ・学校開放事業

H22施策評価
3.3

#### ●施策の目標

指標 1	地域教育コーディネーターの配置校数(校・累計)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	3
指標目標	64	104	→	→	→	171	
進捗状況		105					
指標 2	ふれあいスクール事業の実施校数(校・累計)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	3
指標目標	43	47	51	54	57	60	
進捗状況		47					
指標 3	公民館出前型事業の実施校数(校・累計)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	32	32	36	36	38	40	
進捗状況		35					

地域と共に歩む学校づくりが順調に推進された。

・地域教育コーディネーターは、新規校41校を計画し、計画どおり進み、計105校で配置された。

・ふれあいスクール事業は指標どおり実施。公民館出前型事業は指標を上回って実施された。

## 11 子どもの安全確保と学校・園の安全管理

### 11-（2）安全教育の充実

主な事業・安全教育推進事業

H22施策評価
4

警察署や消防署などによる防犯・防災教室が指標を上回って開催された。

・専門的な知識・経験をもった方から指導を受けた学校は165か校（92.6%）に上った。

指標 1	警察署や消防署などによる防犯・防災教室の開催回数(回)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	261	285	310	335	360	370	
進捗状況		291					

## 13 市民に信頼される教育関係職員の育成

### 13-（1）教育関係職員の研修プログラムの充実

主な事業・マイスター養成塾等スキルアップ研修の推進  
・学社民融合研修の推進  
・社会教育主事の養成の推進

#### ●施策の目標

H22施策評価
3

指標 1	各研修講座における受講者の満足度(%) (充実した研修だったかをA,B,C,Dの4段階で評価したときAと答えた受講者の割合)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	80	80	80	80	80	80	
進捗状況		84.5					
指標 2	マイスター養成塾の修了者数(人・累計)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	47	60	70	80	90	100	
進捗状況		57					
指標 3	学社民融合研修の受講者数(人)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	437	503	578	636	699	770	
進捗状況		1,104					
指標 4	社会教育主事講習の修了者数(人・累計)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	36	39	42	45	48	50	
進捗状況		37					

各研修講座受講者の満足度が指標を上回った。学社民融合研修の受講者が、指標を大きく上回った。

・学校教育関係職員研修では、研修内容を実践的なものに改善したことで、受講者の満足度が向上した。

・マイスター養成塾は、養成に力を入れるため、受講条件を厳しくしたため、受講者が減少し、結果として修了者が指標を下回った。

### 13-（2）教職員への支援体制の充実

主な事業・支援を要する教職員の研修  
・教職員ヘルスケアシステム  
・多忙化解消対策の推進

#### ●施策の目標

H22施策評価
3.3

指標 1	支援を要する教職員の人数(人)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	30	減少	→	→	→	→	
進捗状況		21					
指標 2	教職員の病気休暇・休職者の人数(人)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	108	減少	→	→	→	→	
進捗状況		108					
指標 3	放課後に子どもと接する時間が1週間あたり5時間以上の教員の割合(%)						H22評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	18.5	19.0	20.0	—	—	—	
進捗状況		25.8					

予防的研修に力を入れたことにより、支援を要する教職員の数が大きく減少した。

・支援を要する教員が30名から21名と大きく減少した。

・教職員の病気休暇・休職者は、現状維持となったが、増加に歯止めをかけた。

・多忙化解消対策を推進したことにより、放課後子どもと接する時間が週5時間以上取れる教員の割合が、指標を上回った。

### 3 教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応

#### 施策1－(3)「基礎・基本を身に付ける教育の推進」

- 学力の学校間格差，地域間格差が指摘されているが，どう分析・評価しているのか。また，学校・地域等個別に検討，対応を考えているのか。
- 個別指導や補充指導のあり方に関する情報提供だけで，具体的な改善がなされるか疑問がある。もう一步踏み込んだ学校・地区支援が必要ではないか。
- 単元評価問題の配信はありがたい。2年目で学校の取組も主体的になりつつあるので，引き続きお願いしたい。具体的な改善策等も与えていただけると大変ありがたい。

⇒ 現在分析を進めている。分析に基づき，同じ課題をもつ学校を集めたり，中学校区で集めたりして研修を行う方向で検討している。単元配信問題では，現場の取組状況をみとり，分析・改善を続けていく。

#### 施策2－(2)「体験活動・ボランティア活動の支援」

- ジュニアリーダーになった中学生は，何を持ち帰り，どう動いていくのか。
- 社会的な判断力や，自然の中での判断力等を養っていくことが大切である。
- 1泊2日では短すぎないか。1泊ではあまり効果がないような気がする。
- ジュニアレスキューのようなものもしっかりやってもらいたい。

⇒ ジュニアリーダー育成講座は，将来地域のリーダーとして育てることができるよう，学社民融合のスタイルでやっている。講座では，具体的なアドバイスをあえてせず，2日間自分たちで判断し，行動することをおして地域の中で課題解決していくことを学ぶ。日数についても，23年度は少し延ばしたい。

中学生・高校生を対象に地域防災力の向上を図ることを目的として，市長部局が中心となり，自主防災組織，消防局などと協力し，ジュニアレスキュー隊を結成している。学校とも連携し定期的に講習会等も実施している。

#### 施策4－(2)「特別支援教育のサポート体制の推進」

- 特別支援教育サポートセンターからは，具体的に，きめ細かく支援をいただいている。サポートだけでなく，学級づくり，集団づくり，人間関係づくりまで踏み込み，特別支援教育をやっていこうという思いが伝わってくる。特別支援教育サポートセンターだけでなく，学校支援課，総合教育センターが一体となって人間関係づくりを進めてほしい。
- 特別支援ボランティアに支援いただきありがたい。
- 市民啓発講座を開くことは学校理解にどうかかわっていくのか。また，この講座の位置づけは。

⇒ 今後も学校の訪問要請に応えていきたい。人間関係づくりについては，学校支援課，総合教育センター，特別支援教育サポートセンター（教育相談センター）で，連携して何ができるか検討を始めている。市民啓発講座は，子育て支援というテーマの中で，虐待とか発達障がいの問題について専門家から話していただいている。

#### 施策7ー(2)「子育て支援の充実」

- 保育者研修会の参加者人数は目標に達していないが、研修に参加しやすくなる方策はあるか。また、なぜ少ないのか理由を把握しているか。

⇒ 開催が2・3月だったのでインフルエンザの影響かと推測している。家庭教育学級を進める上で保育者の存在は非常に大事なので、全員参加できるよう仕組づくりをしていく。

#### 施策10ー(1)「地域と共に歩む学校づくりの推進」

- 地域と共に歩む学校づくりは、地域と学校パートナーシップ事業実施校だけでなく、新潟市の学校全体が目指すべきものであるが、事業にかかわらない学校を、どう指導していこうとしているか。また、事業に手を挙げない学校は、なぜ手を挙げないのか。

⇒ 事業に取り組んでいない学校はあるが、地域と共に歩む学校づくりはすべての学校で行っていると認識している。大規模改修等でボランティアの部屋が確保できない等、施設面での理由で手が上がらない学校はあるが、平成26年度までに全校実施できるとの見込みを持っている。

#### 施策11ー(2)「安全教育の充実」

- 防犯、防災教育のあり方や体制の改革等課題はあるのか。
- 防災対策では、学校に今何が求められているのかニーズをはっきりと伝えていただきたい。

⇒ 避難訓練だけでなく、災害時の判断力や危機を回避する力を総合的な学習の時間や特別活動と関連付け指導していくことを検討している。また、保護者、地域と連携し、学校が実態に応じて何ができるか、管理体制を含め見直しを進めている。

#### 施策13ー(1)「教育関係職員の研修プログラムの充実」

- マイスターの養成で、受講者数が減っている一方、養成に力を入れていった場合、認定者の割合は高くなってきていると思うがそのあたりはどうか。
- マイスターの、各学校や地域の教員への授業力アップへの貢献状況はどうか。
- 施策として教員同士切磋琢磨していこうという姿勢が見える。教員全体の質を上げるような評価・施策が検討できないか。
- マイスターのお陰で校内にみんなで授業を大事にしていこうという、マイスター効果が出ている。
- マイスター41名のうち女性は何人か。
- 女性に限るわけではないが、マイスターの認定をもって教頭等選考の登録者にするという考えはないか。

⇒ 受講生一人に指導主事一人がついて指導している。今年度18名の受講生がおり、認定率はかなり上がる見込みである。公開授業講座や校内研修の指導等、マイスターの貢献度は高

い。女性は、41名中16名。教頭等の登用には選考検査がある。マイスターの登用も視野に入れ、研修体制を含め検討していきたい。

#### 施策 13－(2)「教職員への支援体制の充実」

○ 支援を要する教職員が21人とあるが、現状はどうか。

⇒ 平成23年は人事異動により市外から2名転入し、23名となっている。新潟市は、予防研修に力を入れている。その成果もあって指導改善研修の対象者は今のところいない。